

小・中学校 神河町立越知谷小学校 教諭 嵯峨 雅浩

単元名 旧神崎郡5町における、教職員相互の円滑なネットワーク(KE ネット)について

題材名「神崎郡教職員ネットワーク(KEネット)」

目 標

- ・「KE ネット」で旧神崎郡の教職員がさまざまな「教育コンテンツ」を活用するための環境を提供できるようにすること。
- ・「KE ネット」で旧神崎郡の児童生徒がさまざまな「教育コンテンツ」を活用するための環境を提供できるようにすること。

KE ネットでやろうとしたこと

平成13年に、旧神崎郡5町で働く教職員が、事務処理用のデータや教材用のデータをもっと簡単に見ることができれば便利だと思ったことが素朴な出発点となった。もちろん町内ではイントラネットが整備されつつあったが、町を超えての郡内での共通の連絡方法としてFAXやTELと合わせて考えられた。約1年の準備期間に小中学校の視聴覚・養護・事務の担当者がハード・ソフト両面で話し合い、平成14年度当初から運営され、今日(平成18年度)まで活用されている。

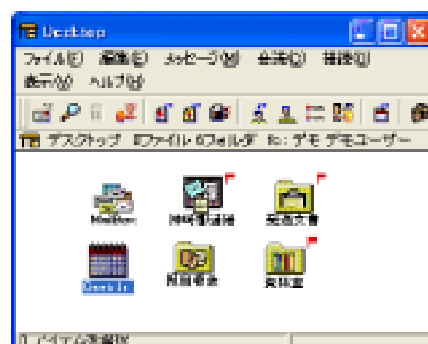
当時の具体的な要望は、以下のものである

- ・郡の陸上や水泳の学校申し込みが一覧表でできたらいいのに。
 - ・報告や申請用紙の書式がほしい。
 - ・郡代表になったときなどのFAXやTELでの連絡は労力がかかる。
 - ・事務や養護の教師なら、共有したり比較したりする資料を一箇所におくととても便利である。
 - ・学校でし忘れた報告書や急ぎの文書を家で書き上げたい。
 - ・他の人の指導資料や指導方法を参考にしたい。
- さらに、職員だけではなく、子どもたちの学習にも活用することも考えられた。

- ・神崎郡の北部と南部の気候や地形、産業などの比較
- ・町外の公共施設等に関する資料をみる。
- ・自分たちが作ったレポート(学習の成果)を他校の人に発表したり、他校の人が作ったレポートを参考にしたりする。
- ・写真などを貼り付けたメールを交換したり、リアルタイムにチャットに参加したりする。

KE ネットの特徴

このネットは旧神崎郡の小中学校だけをつなぐイントラネットなので、必要なデータを置いてみんなで使う(共有する)ことができる。また、インターネットの環境をネットワークとして利用するので特別な設備は必要としない。しかも郡内小中学校の教職員はすでに登録済みなので、インターネットにつながるコンピュータがあれば、いつでも、どこでも使える状態にある。フォルダーや

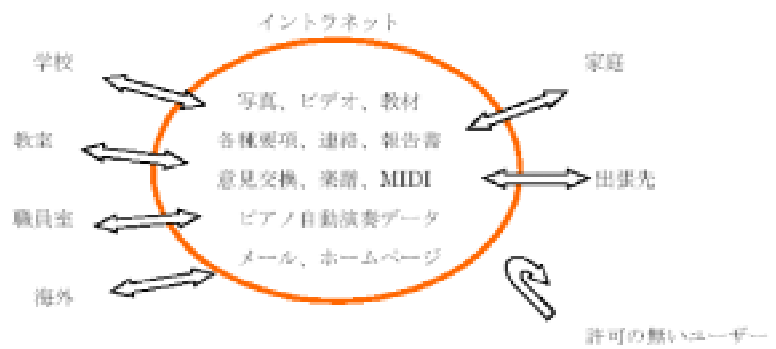


会議室は使用者ごとに読み書きする権限が与えられる。

また、使用するソフトは、一般的なブラウザソフトに加え、自由度が高く思った通りにカスタマイズできるグループウェア

FirstClassを利用する。このソフトは、WindowsとMacが共存する環境でも、情報を共有する

ことができるなどの特徴があり。教職員にとっては、ペーパーレス化が進み、どこにいても仕事ができる環境となり。児童生徒にとっては学校の枠を越える交流手段として期待された。



成果と課題

先述の要望は技術的には可能となり、デスクトップ上に置かれた メールボックス・神崎郡連絡は良く利用され、さらに、資料室・発送文章・担当者が新設された。これらの会議室は、小中学校の教職員の積極的な活用や、建設的なアイデア・意見によって、さらに利用価値のあるものへ発展していると考えられる。

ただし、当初から考えられていたことではあるが、教職員が運営するネットワークのため年度ごとの会員の更新やサーバーメンテナンスの時間・人員の確保が難しいことに加え、今まで考えられもしていなかった、一昨年度の市町合併で各町からの物資の補助が望めなくなったことがある。サーバーの移動や、雷をはじめとするハード面のトラブルなど問題はあるのが現状である。そのたびに、知恵を出し合い、昨年からの3町での運用を軌道に乗せた今、さらなる利活用と、メンテナンス体制のソフト・ハード両面の課題が考えられる。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	校務用・個人用のコンピュータ
使用ソフト名	専用ソフト(FIRSTCLASS®)
使用教室	職場・自宅